

2025年度

解 答 用 紙 適 性 検 査 II

解 答 例

受 検 番 号	氏 名	得 点
		※

※のらんには、記入しないこと

1

〔問題 1〕

(あ) 1	(い) 2	(う) 4
(A) 1 はどのような数でも約数であるため、 最小の公約数は必ず 1 となるから。		

※

〔問題 2〕

(え) 1 9	(お) 2 8 6
(説明) 長方形に出来る限り大きい正方形を入れていくと 【図①】 【図②】 【図③】 【図④】 となるので、正方形の 1 辺は 1 9 c m となる。 正方形の枚数は、 たてが $247 \div 19 = 13$ より 13 枚がならび、 よこが $418 \div 19 = 22$ より 22 枚がならぶ。 よって、最も少ない正方形の枚数は $13 \times 22 = 286$ より、286 枚となる。	

※

〔問題 1〕

社会保障にかかる費用の額や割合が増え、その多くを年金や医療が占めているが、高齢化が進み、それらの給付を多く受ける 65 歳以上の高齢者の割合が増える一方、その財源を負担する働く世代の割合が減ってきていることで、負担が増えている。(111 字)

※

〔問題 2〕

〔働く人が不足していく問題を解決する試み〕

(表 2 の番号の中から選んだ一つを○で囲みなさい。)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

人工知能を活用することが必要だと思う。なぜなら、今まで人間が行っていた労働の一部を置き換えることで働く人の不足を解消する効果があるからだ。

〔子育て世代を支援する試み〕

(表 2 の番号の中から選んだ一つを○で囲みなさい。)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

毎月の児童手当の額を増やすことが必要だと思う。なぜなら、世帯の収入しゅうにゆうが増えて子育てに経済的よゆう余裕よゆうが生まれる効果があるからだ。

※

3

〔問題 1〕

(1) 川の土

〔理由〕

1 分間に透過した水の量が最も少ないため。

(2) 河川の氾濫

〔理由〕

透水性の低い土地に豪雨が降ると、土に水が染み込みにくいので、水があふれてしまうため。

※

〔問題 2〕

(1) 山の土、川の土、市街地の土

〔理由〕

実験 2 の重さと、実験 3 で重さが変わらなくなった時の差を求めると、市街地の土が 55 g、川の土が 130 g、山の土が 140 g となる。これは、土が含んでいた水の重さであると考えられる。

(2) 土砂崩れ

〔実験計画〕

今回の実験は、ペットボトルを垂直に立てた装置で実験を行っているので、地面は水平になっている。

そこで、土砂崩れの起きる斜面を再現して実験するために、水を十分に含んだ 3 種類の土をそれぞれトレイに取り出して敷き詰め、トレイの傾きを少しずつ大きくしていったときに、崩れ始める角度を比較する。

※